

自動車総連 「国内市場の活性化」の取り組み

東京モーターショー2009 自動車総連ブース「親子deものづくり」は連日大盛況でした！

自動車総連は10月24日(土)～11月4日(水)に開催された東京モーターショー2009に『親子deものづくり』と題した親子向けのブースを出展、モーター工作やペーパークラフトなどの参加型イベントを実施して、子供たちにクルマの魅力とものづくりの楽しさを伝えました。ブーススタッフは総連事務局と各加盟労連からの派遣スタッフによるチーム構成。スズキ労連からも計4人を派遣し、ブース内での案内係や説明員としてたくさんのご家族連れに対応し、子供たちの楽しい思い出づくりをサポートしました。



「モーター工作」

モーター付きの木製クルマを組み立てるコーナー。意外なことに女の子にも大人気でした。



「ペーパークラフト」

消防車、お花カー、白バイのペーパークラフトに挑戦。それにしても白バイは難しかった…。



「実車ペイント」

実車にお花の絵を描くコーナー。普段は絶対できない体験だけに子ども達も大喜びでした。



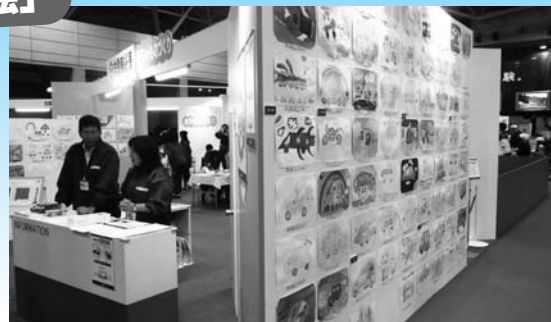
東京モーターショー2009に労働組合として初出展！

たくさんのご応募ありがとうございました！ 「未来のくるまの絵」

東京モーターショー出展作品のご紹介

9月11日(金)までに募集しておりました、東京モーターショーへ出展する「未来のくるま」の絵には164点もの数多くの作品が寄せられました。どれもアイデアいっぱい、エコロジー満載で甲乙付けがたい作品が出揃いましたが、厳選なる審査の結果、下に掲載した10作品がスズキ労連からの出展作品として選考され、東京モーターショーの自動車総連ブースに展示されました。

(総連全体で300作品が展示されました)



計300作品が総連ブース側面に展示されました。



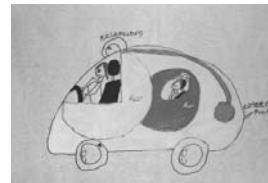
「海を走る車」
スズキ労組豊川支部
伊藤健司さん(渚ちゃん4歳作)



「空飛ぶピカピカカー」
スズキ労組本部
初川庄司さん(里緒ちゃん5歳作)



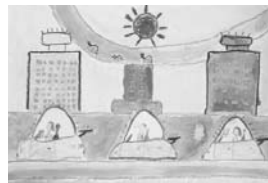
「そらとぶくるま」
スズキ労組高塚支部
望月義仁さん(梨帆ちゃん6歳作)



「たいようどねずみパワー」
スズキ販労自販神奈川支部
鈴木悟さん(ゆいちゃん6歳作)



「ドリルもぐらカー」
スズキ労組高塚支部
鈴木智之さん(悠真くん8歳作)



「自動うてんソーラーカー」
スズキ労組高塚支部
内藤智也さん(孝祐くん9歳作)



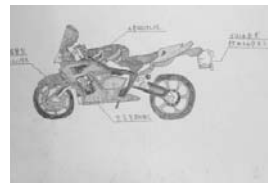
「地球をきれいに花で満たそう」
スズキ労組本部
小杉尚さん(佳子ちゃん9歳作)



「お花をさかさうローラーカー」
スズキ労組磐田支部
上澤隆治さん(さらなちゃん10歳作)



「未来の車でーす」
スズキ労組豊川支部
山田佳右さん(萌々香ちゃん10歳作)



「エコロジーウイング」
スズキ販労自販京都支部
大槻賢一さん(匠くん12歳作)

どんなことでもOK! お気軽にご相談下さい。

スズキ労連 労働相談窓口

仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活…悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!

0120-500-073

※月～金 9:00～19:00

相談無料・秘密厳守

「スズキ労連」機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8063 浜松市南区小沢渡町12-1
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail : mitsuda@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇ <http://saw.gogo.tc/>
*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関誌 共通パスワード… saw2007

【編集後記】「未来のクルマの絵」にたくさんご応募いただきありがとうございました。小職も、東京モーターショーの自動車総連ブース内でお子さん相手にペーパークラフトやモーター工作のお手伝いをいたしました。アイデアに富んだ絵や作業中のお子さん達の真剣なまなざしを見る限りでは日本の自動車産業の将来は意外と安泰かも!?(次長2)

スズキ労連

2009年11月 第331号

2009年 11月号

静岡県浜松市南区小沢渡町12-1
電話〈053〉447-3079
スズキ関連労働組合連合会
発行人 加藤幸博
編集人 光田 玄

“やりがい・働きがいのある労働環境を築き、グループ全体の活性化を目指そう!”

スズキ労連“秋の取り組み” 2009年 労働諸条件改善の取り組み

方針決定

スズキ労連は10月2日(金)、第1回中央執行委員会とその後併催された製造輸送・販売部会において議論を重ね、10月29日(木)第2回中央執行委員会にてスズキ労連「2009年労働諸条件改善の取り組み方針」と製造・輸送部門、販売部門ごとの取り組み方針を確認・決定いたしました。これを受け、各加盟労組は労連方針に基づき、各部門方針に合わせた形で、独自の取り組み方針を決定し、要求・要望書の提出、または労使確認の場を設定し、個別に取り組みを進めます。

取り巻く情勢が依然として厳しい中で、グループ全体の活性化に繋がる労働条件の改善に向け、全員でしっかりと前を向いて取り組みを進めていきましょう。

《スズキ労連 2009年労働諸条件改善の取り組み方針》

自動車総連の「労働諸条件・基本プラン」に沿って、ミニマム基準未達一掃に向けた取り組みを展開する。
各組合は要求書または要望書を提出し、小委員会等の形態で取り組みを進め、回答については文書にて受け取る。

◎基本プラン
60歳以降の就労について(通年取り組み含む)
自動車総連方針に基づき協定の運用について確認し、課題については労使協議をする

◎基本プラン以外
1)労働協約・労使協定の締結・見直しを実施
スズキ労連の統一取り組み項目として、協約・協定の再点検実施。各単組は締結の実態を確認し、必要性に応じ、確実に更新、締結していく。また、新加盟組合は、「早急に協約・協定を整備する」事に取り組む。
・労連事務局を中心に標準化を図る。
2)労働時間短縮に向けた諸施策の展開
START12に基づく取り組みの実施。
ゆとりある豊かな生活の実現、健康管理、コンプライアンス、ワークライフバランスの観点からも総労働時間短縮に向け取り組む。
・年間所定労働時間の短縮に向けて労使協議することを要望する。
・有給休暇の取得に向け、計画有給制度化に向けた環境整備に取り組む。
・所定外労働時間の削減

3)裁判員制度施行に向けた取り組み
・裁判員制度特別休暇が「無給対応」となっている組合は100%保障の有給対応となるよう取り組む。
4)時間管理に関する確認(通年取り組み含む)
・時間管理の適正化について取り組む。
5)法改正への対応・職場環境の改善、社会情勢変化への対応・福利厚生の充実に向け、各組合は積極的に取り組む。

【部門別方針の特徴点】
各部門別方針では、各部門特有の課題を踏まえ、スズキ労連方針に基づいた上で、より具体化した下記の取り組み項目を方針に盛り込みました。

<製造輸送>
○労働時間短縮に向けた諸施策の展開
・継続協議である、年間所定労働時間1952時間に向けて労使協議することを要望する。

<販売部門>
○年間カレンダーについて
・年間カレンダー策定については労使協議のうえ決定する。
・三大連休(年末年始、GW、夏期)を含む年間休日完全取得できる環境づくりの観点から休日設定について労使で十分に議論を行なう。
○営業スタッフの時間管理について
・完全時間管理となっている単組は「運用実態の把握」をするとともに、必要に応じて「運用面の見直しや職場の理解活動、労働時間管理についての協定締結」に取り組む。
・完全時間管理に未合意の単組は、労基法38条2項に基づく「事業場外みなし労働時間制」を適用せず、通常の時間管理に移行することについて、労使で協議の場を持ち、課題を整理した上で、導入に向けた建設的な議論を行なう。

《スズキ労連取り組み日程》
<要求書・要望書提出> 11月上旬～11月中旬
<取り組み時期> 11月上旬～12月末

改正労働基準法の中身とは？

ワークライフバランスや健康配慮の観点から、労働基準法の一部が改正され、改正労働基準法が来年4月より施行されます。今回の「労働諸条件改善の取り組み」ではこの法改正への対応について労使確認を行います。ここでは主な改正点についてご紹介します。

(1) 時間外労働の削減

限度時間を超える時間外労働の労使による削減

特別条項付き時間外労働協定で、限度基準告示上の限度時間(注)を超える時間外労働に対する割増賃金率を法定(25%以上)を超える率を定める努力義務
(注)たとえば1ヶ月45時間、1年間360時間など

法定割増賃金率の引上げ ※中小企業は、当分の間、適用猶予

1ヶ月60時間を超える時間外労働について、割増賃金率を50%以上に引上げ(現行25%以上)

代替休暇制度の創設 ※中小企業は、当分の間、適用猶予

労使協定により改正法による法定割増賃金率の引上げ分(注)の割増賃金の支払いに代えて、有給の休暇を付与することが可能に
(注)例えば、50%-25%=25%(簡便化のために引上げ前の割増率を一律25%とした場合の例)

(2) 年次有給休暇の有効活用

時間単位年休制度の創設

労使協定により、1年に5日分を限度として年次有給休暇を時間単位で取得することが可能に

※猶予される中小企業

- ① 資本金の額または出資の総額が
 - 小売業 5,000万円以下
 - サービス業 5,000万円以下
 - 卸売業 1億円以下
 - 上記以外 3億円以下
- または
- ② 常時使用する労働者数が
 - 小売業 50人以下
 - サービス業 100人以下
 - 卸売業 100人以下
 - 上記以外 300人以下

(注)事業場単位ではなく、企業(法人または個人事業主)単位で判断します。

SUZUKI スズキ販売 自販北海道・自販栃木・自販群馬・自販宮崎にスズキ販労支部が結成!

スズキ販売労働組合は10月8日の自販栃木支部結成大会を始めとし、14日に群馬支部、18日に北海道支部、22日に宮崎支部の結成大会を開催、あらたに584名の仲間がスズキ労連に加わりました。これで、関東地方では既存の9支部と併せ、全直営代理店にスズキ販売労働組合の支部が結成されたこととなります。

今後も順次、北海道、九州地方にある直営代理店の結成大会が開催される予定です。全国組織へと成長を続けるスズキ販売労働組合。スケールの大きな活動を通して、全国のスズキ販売会社がより魅力ある、活力ある会社となることが期待されます。



スズキ販労 自販栃木支部

支部結成日:10月8日
支部執行委員長:鈴木 一恵
組合員数:136名

自販栃木支部では販労初の女性支部執行委員長が誕生!支部旗を渡す森崎中央執行委員長もなんだか嬉しそうです。



スズキ販労 自販群馬支部

支部結成日:10月14日
支部執行委員長:池田 英明
組合員数:173名

まじめな池田支部執行委員長を支部執行部全員で支えます。結成大会時からすでにチームワークは抜群でした。



スズキ販労 自販北海道支部

支部結成日:10月19日
支部執行委員長:北田 賢昌
組合員数:172名

広い北海道。拠点も道内に点在していますが、札幌市内で開催された結成大会には、遠い拠点からも多くの組合員さんが参加してくれました。



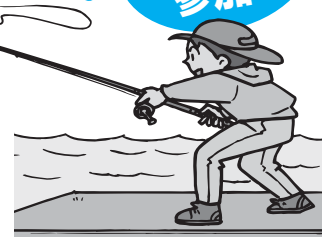
スズキ販労 自販宮崎支部

支部結成日:10月22日
支部執行委員長:齊藤 貴文
組合員数:103名

九州地区で一番乗りで支部を結成した自販宮崎支部。嬉しさのあまり、支部執行部全員から思わず笑みがこぼれました。

2009オールスズキハゼ釣り大会 1697名が参加!

日時:2009年10月4日(日)9:00~14:00
場所:浜名湖一帯(受付計量は舞阪 乙女園公園駐車場)
参加者:1697名(大人1160名、子供502名、実行委員35名)
賞品:ハゼ・その他大物賞など(下表は上位入賞者)



10月4日(日)、毎年恒例のオールスズキハゼ釣り大会を開催致しました。前日までの雨模様は嘘のような秋晴れ!...というよりも真夏のような炎天下のもと、スズキ労連加盟組合の組合員やそのご家族、約1700人が釣果を競い合う“熱い”大会となりました。前日まで長くぐずついた天気が続いたため、水が濁ってあまり釣れないのでは...と心配されましたが、そこは釣り名人の参加者達。独自に開拓した秘密のポイントがあるようで、今年もバケツ一杯のハゼを釣り上げた達人が何人もいらっしゃいました。なかには、「これが本当にハゼか!?’という大物もあり、レベルの高い大会を演出してくれました。受付会場ではお客様向けにわなげゲームも実施。欲しいお菓子を目掛け輪を投げて、ゲットするつもりがうまくいかず泣き出してしまいうチビッコも。そんなかわいい“わがまま”にもこやかに対応していた実行委員の皆さん、本当にお疲れ様でした。

ハゼ大物賞結果

賞	賞	単組・支部	職場	氏名	組合員名	重量(g)
1位	ダイワ クーラーボックス	高塚	ルシ	龍 常雄	本人	81
2位	パーソナル加湿器	湖西	マケ	鈴木正成	本人	73
3位	SHOWA バスタセット	湖西	マケ	鈴木葉央	鈴木正成	72
4位	組織織 バスタオル	湖西	マコホ	田中由佳	田中鉄治	72
5位	組織織 バスタオル	湖西	MANシ	山崎兼一	本人	69
6位	組織織 バスタオル	高塚	ヨ2K	小野田孝一	本人	67
7位	組織織 バスタオル	スズキ部品浜松		内山寿之	本人	66
8位	組織織 バスタオル	高塚	ヨ34	山本 明	本人	65
9位	組織織 バスタオル	湖西	マシ	古橋清治	本人	65
10位	組織織 バスタオル	湖西	MANシ	山崎真奈美	山崎兼一	64

その他大物賞結果

賞	賞	単組・支部	職場	氏名	組合員名	魚名	重量(g)
1位	ライフベスト	小楠金属・熱処理		鈴木一成	河合将弘	クロダイ	1,420
2位	パーソナル加湿器	高塚	ニヨ	村松 剛	本人	スズキ	1,380
3位	SHOWA バスタセット	高塚	ニヨ	村松聖枝	村松 剛	スズキ	1,280



ご協力ありがとうございました!!

特定非営利活動法人(NPO法人)
交通遺児等を支援する会

第6回チャリティーバザー

衣服・陶器・玩具等381点もの物品提供をいただきました。

8月からお願いしていた「交通遺児等を支援する会」第6回チャリティーバザーへの物品提供に多くの方にご協力をいただきました。いただいた物品は11月1日(日)に新宿エステック情報ビル「エステックひろば」で開催されたバザーに出品されました。このバザーの売上金が病気などにより経済的負担を強いられている母と子に対する「緊急一時貸付」・「越年助成金」として使われます。ご協力、誠にありがとうございました。



毎年、バザーの会場は大賑わいです。ちなみに昨年の売上は約95万円でした。

日本点字の日

◀田口章ブログ11月1日記事より抜粋▶

11月1日は「日本点字の日」。私は知りませんでしたが、現在の点字が初めて採用された日だそうです。「点字」はみなさんご存知ですよね。6つの星(ドット)をうまく使い、母音と子音を組み合わせ、五十音を表しています。視覚障がい者の生活には欠かせないものです。

この「日本点字の日」を記念して、浜松市中央図書館他で、「点字関連三偉人を讃える集い」が開催されました。驚くことに、この三偉人のうち、一人はフランス人ですが、あとのふたりは浜松出身なのです。偉人の一人、石川倉次氏をご存知でしょうか? <中略>

写真は、ウイズ半田のみなさん。三人への感謝を込めて、新たに作った「六星賛歌」を披露しました。「六つの星に願いを込めて歩いていこう...」「星は瞬き輝いて、僕らの道を照らすだろう...」点字への感謝、希望。視覚障がい者のみなさんの気持ち伝わってきました。

「不自由ではあるが、不幸ではない」ある視覚障がい者の方は、力強くお話しされました。私は、こうした「チャレンジ」のみなさんを支える社会をつくりたいと思います。視覚障がい者を含め、障がいのあるみなさんが日常生活を送るためには、都市インフラはまだ未整備です。しかし、都市インフラだけを整備すればよいと言うわけではありません。欧州では、視覚障がい者が信号待ちをしていると、頼まなくても、誰かが横断の手伝いしてくれる街もあるそうです。最も大切なのは、市民の心のユニバーサルデザイン(UD)を養うことです。バスや電車でお年寄りや席を譲る。困っている人に声をかける。こうした市民があふれる、心豊かなまちを創りたいですね。



「おもしろきこともなき世をおもしろく」
「今より早いときはないがモーターです。」
浜松市議会議員 田口 章

浜松市議会議員「田口 章」です。民間企業23年間のサラリーマンの視点で、企業人として、生活者として、10年、20年後の浜松のために、身近な政治改革にチャレンジします。

田口章の「創ろう! 元気な浜松」

http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/

浜松市政から身近な政治問題、プライベート(?)まで田口が気にしていること、考えていることがよく分かります。コメントも書き込めますので、皆さんのご意見をどしどしお寄せ下さい!

※「後援会だより」「メールマガジン」のバックナンバーも閲覧できるようになりました。

労連HPからもアクセスできます。

